

胆沢ダム原石山森づくりの会

「山」を削り木を切つて、私たちの生活のためにダムが造られる。その復元作業に参加することで、地元住民の環境への意識も変わるはず」と語るのは、胆沢ダム原石山森づくりの会の小野寺正英^{まさひで}窓口担当代表。同会は、平成25年に完成予定の胆沢ダムの採石地である「原石山大森」を、地元の植物で復元することに取り組んでいます。

会の始まりは、河川敷などに外来の樹木や植物が増えてきたことに不安を感じたこと。17年に、胆沢ダム工事事務所へ会の発足と活動内容について相談。理解を得ると、市内の河川や森林の環境保全に取り組みボランティアグループに参加を呼びかけました。最初は「ダム建設は公共事業。行政に任せておいては」とい

う声もありました。しかし、保全活動で培った知識を生かして地域にあった森づくりをしようと、みんなの気持ちはまとまっていったのです。19年2月、8つのボランティアグループと同工事事務所、岩手南部森林管理署、市で構成する11団体で会が発足。同年5月から、ダム建設現場近くに自生するブナやナラなどの

広葉樹の苗木採取を続けてきました。地元の中高生の協力も得て、今までに約3000本を仮植。当初は苗木にあまり成長が見られませんでした。が、下草刈りなどの手入れを続けたことで根が張り、3年を過ぎると背丈もぐんと伸びだしました。

ことし6月、一般参加者を募って念願の植樹会を実施。会員や水沢農業高校の生徒と教職員ら約140人

23年6月17日、小雨の降る中、140人もの参加者が原石山に集まり汗を流しました



が参加し、1・5畝に約1000本の苗木を植え付けました。ことしはあと数回の植樹を予定しています。活動の原動力は、ふるさとを守りたいという熱意です。「私たちの山」という意識を持つことでふるさとが守られると考え、多くの市民が山に愛着をもてるようなイベントを企画発信しようと取り組んでいます。



■胆沢ダム原石山森づくりの会（小野寺 ☎ 3447）

各団体ごとに記念植樹。敷かれたチップは伐採木の枝や根を加工したものです

interview



胆沢ダム原石山森づくりの会
窓口担当代表

小野寺 正英さん（68）

長年、ダムや河川周辺の清掃など自然保護活動に取り組んでいます。農地整備後に田の法面に生えた外来植物を見て「ダム工事でも同じ現象が起こるのでは」と不安を感じました。市民の意見を生かした森づくりには、行政だけに任せきりにしたり、意見を声高に言ったりするだけではなく、一緒に取り組むことが大切と考えます。



水沢農業高校3年環境工学科コース
農業クラブ会長

及川 千春さん（17）

高校1年生の時、つづ沼周辺の苗木採取に参加しました。良い苗木を選ぶことが難しかったです。私の腰の高さだった苗木も、今は背丈近くまで大きく育ってくれました。

植樹作業は地面が固く石も多く大変でしたが、広い胆沢ダムの敷地の一部に、自分たちの手で木を植えられることがとてもうれしいです。

NPO 伝言板

市内のNPO活動をお知らせします。
情報の掲載を希望する場合は、市民活動支援センター（☎ 4200）までお問い合わせください。

●水生生物・水質検査調査体験

期間：7月10日^日～10月初め
午前10時半～午後4時半
場所：市内の河川、池、湖沼など
内容：身近にある水辺で、水質や、水生生物を調べてみませんか。講師を派遣して解説します。調査場所の紹介もしていますので、お気軽に申し込みください。
対象：5人以上のグループ
費用：無料
問い合わせ：特定非営利活動法人奥州・いわてNPOネット（市民活動支援センター ☎ 4200）

●増長寺寄席「お達者落語会」

日時：9月7日^日 午後2時・午後6時
場所：増長寺（水沢区寺小路）
内容：落語を楽しむと同時に、陸前高田市に笑いを届けませんか。皆さんの参加料が、翌日の陸前高田市華蔵寺での無料落語会開催費用に充てられます。
参加料：2,000円
問い合わせ・申込先：コンパクトシティ水沢（ナカノメ薬局内 ☎ 2047）

●無料法律相談会

日時：9月4日^日 午前10時～正午
場所：市民活動支援センター
内容：養育費や日常生活で悩んでいる母子・寡婦・父子家庭の無料法律相談会
相談者：加藤文郎 弁護士
問い合わせ・申込先：市母子寡婦福祉協会（吉田 ☎ 080-2808-5377）